

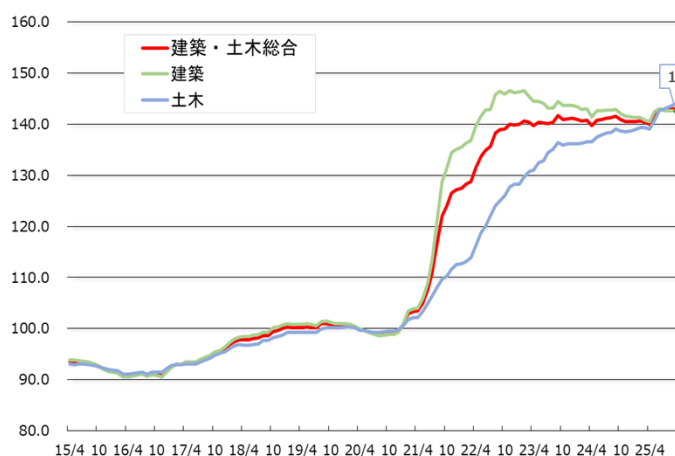
積算資料 建設資材価格指数

ER 一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2025年9月調査）

全国・2020年度平均＝100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	143.0	+0.1	+1.4
建築	142.6	±0.0	-0.3
土木	143.8	+0.4	+4.7

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	●セメント：+17.4仙台 ●生コンクリート：+8.2仙台 ●骨材：+3.2那覇 ●コンクリート二次製品：+7.6那覇、+3.7広島、+3.4仙台、+2.9高松、+2.8大阪、+2.1札幌、+0.1福岡 ●瀝青材：+1.4仙台、+1.3札幌・新潟・高松、+1.2福岡、+1.1名古屋・広島、+1.0大阪、+0.8東京・那覇	●普通鋼鋼材：-0.8高松、-0.5仙台・新潟・名古屋、-0.4札幌・東京、-0.3福岡
建築	●セメント：+17.4仙台 ●生コンクリート：+8.0仙台 ●骨材：+3.1那覇 ●コンクリート二次製品：+11.8那覇、+3.8広島、+3.1仙台、+2.6高松、+1.7大阪、+0.8札幌、+0.1福岡	●普通鋼鋼材：-1.2高松、-0.8新潟、-0.7仙台・名古屋、-0.4札幌・東京・福岡
土木	●セメント：+17.4仙台 ●生コンクリート：+8.4仙台 ●骨材：+3.5那覇 ●コンクリート二次製品：+4.9大阪、+3.7仙台、+3.5広島、+3.3札幌・高松、+0.8那覇、+0.1福岡 ●瀝青材：+3.0東京・名古屋・大阪・広島・福岡、+2.9仙台・新潟・高松、+2.7札幌、+2.3那覇	●普通鋼鋼材：-0.4札幌、-0.3仙台、-0.2東京・名古屋、-0.1高松

指数集計対象資材の市況

9月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比プラス0.1ポイントの143.0となり最高値を更新した。指数を建築、土木別にみると、建築指数が2カ月連続で横ばいとなった一方で、土木指数は5カ月連続して最高値を更新しており、土木指数の伸びが総合指数を押し上げたかたちとなっている。前月比マイナスとなった普通鋼鋼材は、需要の低迷が長期化し販売側の強気材料が見当たらないことから、今後も市況は弱基調での推移が続くとみられている。しかし、9月調査で多数の地区のコンクリート二次製品価格が上昇するなど、生コンクリートや骨材を含めた地場資材の市況は底堅い。輸送費をはじめ各種のコスト増を販売価格に転嫁する動きは、各地区で継続するとみられることから、今後も指数は上昇基調が続くそう。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212

©2025 一般財団法人 経済調査会